

## 令和８年度第１回相生市総合教育会議会議録

|      |                            |            |  |
|------|----------------------------|------------|--|
| 日 時  | 令和８年５月２２日（金）１３時３０分から１４時３０分 |            |  |
| 会 場  | 市役所３階 議員控室                 |            |  |
| 出席委員 | 谷口 芳紀                      | 市長         |  |
|      | 坂本 浩宣                      | 教育長        |  |
|      | 米澤 聖子                      | 教育長職務代理者   |  |
|      | 萩原 喜樹                      | 教育委員       |  |
|      | 小西 毅                       | 教育委員       |  |
|      | 頭島 恵美                      | 教育委員       |  |
| 出席職員 | 大西 博之                      | 教育次長（管理担当） |  |
|      | 土居 哲也                      | 教育次長（管理担当） |  |
|      | 竹口 智哉                      | 管理課長       |  |
|      | 國本 直嗣                      | 学校教育課長     |  |
|      | 西山 学                       | 生涯学習課長     |  |
|      | 佐原 正樹                      | 体育振興課長     |  |
|      | 高嶋 佳奈                      | 人権教育推進室長   |  |
| 傍聴者  | なし                         |            |  |

### １ 開会

### ２ 市長挨拶

本日は、令和８年度第１回相生市総合教育会議を開催させていただきましたところ、公私ご多忙の中、ご出席を賜りありがとうございます。

先日来、令和５年３月に市内中学校で発生した生徒自死事案につきまして、ご遺族が損害賠償を求めて提訴されたことで、様々な報道がされており、教育委員の皆様にも、いろいろとご心配をおかけしていることと思います。

お預かりした生徒の命が失われるという大変重大なことであり、痛恨の極みであります。我々としまでも、重く深い反省のもと、このような悲しい事案が二度と起こらないよう、引き続き、今後の対応策に全力で取り組んでまいります。

さて、昨年度、相生市においては、本市の最上位計画である「第６次相生市総合計画」の中間見直しを終え、あわせて「第３次相生市地域創生総合戦略」を策定いたしました。本年度はこれらの後期計画がスタートする初年度にあたり、「まちづくり」また「相生の教育」にとりましても、新たな５年間の第一歩を踏み出す節目の年となります。

人口減少や少子高齢化が進行し、社会経済情勢が大きく変化する中であっても、まちづくり目標である「いのち輝き 絆ひろがる あいのまち」の実現に向け、子どもたちが未来に夢と希望を抱けるまちづくりを着実に進めてまいります。

これまでと同様に新たな時代の主役となる子どもたちを育てるため、教育に重点を置いたまちづくりを進め、教育立市を目指してまいりたいと考えておりますので、委員の皆様には引き続き格段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

この総合教育会議は、今後の「相生の教育」の大きな方向性を決定する重要な場でございます。委員の皆様と忌憚のない意見交換をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 3 協議事項

#### (1) 相生市の教育に関する重点施策について

##### 令和8年度の重点施策について

##### 管理課長

令和8年度の重点施策については、「相生市教育振興基本計画」に基づき進めております、令和8年度「相生の教育」の主な事業を以下提出させていただきました。

(管理課より機構順に事業概要説明)

|         |                                                 |
|---------|-------------------------------------------------|
| 管理課     | 「市立中学校体育館空調整備事業」                                |
| 学校教育課   | 「次世代校務DX推進事業」、「児童生徒一人一台端末更新事業」<br>「幼小中一貫教育推進事業」 |
| 生涯学習課   | 「世代をつなぐ学びの促進」                                   |
| 体育振興課   | 「幼児の運動能力向上事業」                                   |
| 人権教育推進室 | 「相生市の子どもたちで考える「相生市いじめ防止宣言」」                     |

以上の事業が、令和8年度の主要な事業となります。

これらの事業により、教育振興基本計画の推進を図ってまいります。

## (2) いじめ防止対策について

### 学校教育課長

令和7年度相生市いじめ防止対策検証委員会を9月と1月の計2回開催いたしました。各委員出席のもと、教育委員会や学校の取組についてご意見をいただきました。

第1回委員会では、「生活アンケートを行った際は全生徒と面談を行う」や、「保護者との連携の大切さ」、また「問題解決に向けて課題を明確化し「チーム学校」として検討すること」などのご意見をいただきました。第2回委員会におきましては、「スクールカウンセラーとの連携や3ヶ月の見守り状況」「生徒の発達特性や思春期の不安定さの理解」また、「遺族からの手紙などを資料に事案を風化させない取組を継続すること」など大変重要なご意見をいただきました。

今年度はこれらのご意見をしっかりと踏まえ、いじめの未然防止や早期発見・早期対応ができるよう取組を進めてまいります。

6月には「いじめに関するアンケート」、7月には中学生を対象とした「心の健康観察『i-check』」を実施いたします。

8月には、「教職員全体研修会」を実施するとともに、「いじめ防止サミット」を開催し、「いじめ防止宣言」を作成いたします。それを受け、各学校でどのような取組を行うか検討し、実行してまいります。

また、11月には「双葉中学校区人権教育実践発表会」や、竹内教授による「教職員全体研修会」「あいおい子育てミーティング」等を実施し、学校、家庭、地域が連携した取組を進めてまいります。

なお、今年度についても、本市の取組を継続的に評価協議するため、9月と1月に「いじめ防止検証委員会」を開催する予定としております。「スクールカウンセラーによるSOSの出し方教育等の実施」また「教育相談」「心の健康観察」などは、今年度も継続して取り組んでまいります。

## (3) 相生市教育委員会業務量管理・健康確保措置実施計画について

### 学校教育課長

#### 1 計画の趣旨、現状

##### (1) 計画の趣旨

複雑化する教育課題に対応し、質の高い教育を実現するため、教職員の業務効率化と健康保持を図り、働きがいのある学校づくりを推進するものです。

## (2) 相生市の現状

県の動向等を受け、令和2年4月に業務量の適切な管理に関する規則および方針を策定し、学校業務改善に係る連絡会等を活用して取組を進めております。令和7年5月には、県・市町共同メッセージを発出し、全県一丸となって取組を推進してきました。

## 2 計画期間 令和8年度から4年間

## 3 目標

### (1) 時間外在校等時間に関する目標

教職員が”子どもたちと向き合う時間”、“授業の質を高める時間”を確保するため、まずは時間外在校等時間が月80時間超の教職員をゼロにすることを最優先で目指します。R7の実績が85.1%という数値です。その上で、全ての教職員が月45時間以内となること。更に、月平均30時間程度、年間360時間以下にすることを目標としております。

### (2) ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標

教職員が心身ともに健康で、十分に指導力を発揮できるよう、年次休暇を計画的に年間10日以上取得する教職員の割合を100%とすることを目指し、働きやすい職場環境を整備してまいります。

## 4 実施する業務量管理・健康確保措置

### (1) 業務量の削減・業務の効率化

教職員の意識改革やICTの積極的な活用、外部人材の活用等による「チーム学校」としての業務改善を実施いたします。

また、「学校と教師の業務の3分類」に基づき、学校や教師以外が担うべき業務を整理し、負担軽減を促進してまいります。

### (2) 健康の保持増進

統一の学校閉庁日の設定や、各学校における衛生委員会の月1回以上の開催、長時間勤務の職員への面談等を実施いたします。また、心の健康づくり計画に基づき、教職員が生き生きと仕事ができる快適な職場環境を確保してまいります。

### (3) 取組の実効性を高めるための推進体制の整備

取組の主体となる教育委員会や学校などの関係機関が相互に連携し、現状の共有や有効な支援などを検討する「学校業務改善に係る連絡会」を開催してまいります。

## 5 今後のフォローアップ

本計画の目標達成状況などを各種会議で報告するとともに、長時間勤務の教職員がいる学校に対しては支援や指導を実施してまいります。

また、保護者や地域の皆様への理解促進や、管理職向けのマネジメント研修を充実させ、この取組を推進してまいります。

## 4 その他（意見交換）

### 教育次長（管理担当）

続きまして、次第4 その他に移ります。

本日の総合教育会議につきましては市長と教育委員会が教育に関する諸条件整備や重要施策について協議や意見調整を行っていただく会議となっております。

最初に今後の教育について米澤教育長職務代理者から順に各委員の相生市の教育に関する所感をお聞かせいただきまして、市長の教育に関する所感をお聞かせたいと思います。

### 米澤教育長職務代理者

（1）重点施策中、学校教育課の「次世代校務D X推進事業」や「G I G Aスクール構想」に関して一つ質問です。

ちょうどコロナの時期にI C Tが小学校に入って、この「G I G Aスクール構想第1期」としてすごい速さで整備が進んだわけですが、それをもとに、第2期に入ろうとしているという説明を受けました。

現在の相生市での進捗状況、どのぐらい学校で整備され、活用されているか。第2期に入るにあたって、成果と課題をまとめられたと思うので、そのあたりのことを聞かせていただきたいと思います。

### 学校教育課長

現在の小学校1年生は、タブレットを使う時間もありますが、主に紙の教科書中心です。2年生からは、全校タブレットを使用しての授業となっております。

課題として私が感じているのは、宿題を紙ベースにするのか、デジタルにするのかというところです。タブレットは重さもありますので、週に1回は必ず持ち帰っている学校や学年もあり、現在は、学校によって状況が違います。

夏休みの宿題では、学童の教室にW i - F i がない、ネット環境の不公平感があるなどの理由で、市内統一して紙の宿題にするという話になりました。全てタブレットで宿題ができるようになれば、かなりの業務改善になるだろうと考えます。

## 米澤教育長職務代理者

ありがとうございます。

導入されたときには、急激な進み方で、たくさんの研修を持っていただいたり、支援の方を入れていただいたりしたと思いますが、現場では追いつけないところがありました。

今はおそらく、どう活用できるかというところでしょうが、これからますます進んでいく中で、先ほどのお話のように小学校間で格差があったり、先生方は時間がない中で、新しいことに対応する時間を意識したり、研修を受けて使える技術・能力をどう高めていくか。しかも子どもたちにその力を身につけさせないといけないということが、問題だと思います。

本当に大変だと思いますが、これからの社会の中で、この力を身につけていないと、豊かな生き方ができないと思いますので、よろしくお願いします。

## 坂本教育長

今、「DAICHANアクションプログラム」の「I」で、「ICTの活用」を示しているところです。子どもたちにとって本当にこれはこれから必要な力だと考えております。

活用状況に関して、小学校6年生と中学校3年生対象に「全国学力学習状況調査」というものを毎年文科省が行っておりますが、その中に「タブレットの使用頻度」という質問項目があります。「週3回以上使用している」と回答した相生市の小学生では68.4%であり、全国平均より低い結果が出ました。中学生では88.5%、こちらの方は全国に比べて12ポイント高い結果が出ています。

中学校でもなかなか取組が進まなかったところがありましたが、昨年度令和6年度に比べると25.4ポイント改善、使用頻度が高まっているということで、中学校での利用はかなり進んだと思っています。

新しいものを取り入れていくためには、研修の機会が必要ですが、夏休み期間に新たな研修をして、より使いやすく効率的に学習ができるように準備をしているところです。

## 萩原委員

学校訪問等で、タブレットを使ったような授業を見せていただくことがあります。が、結構な頻度で使われているのだと感じました。

先日、兵庫県教育委員会連合会の研修で、文科省の方から、幼稚園では令和10年、小学校では12年、中学校は13年に指導要領を改訂していく中で、どういったところを変えていくか。どういったところを重点的にやっていくか。といったお話を聞く

機会がありました。

ここ数年、ICT、生成AIとあっという間に入ってきて、米澤教育長職務代理が言われたように、現場としてもそれに対応していくのが大変だろうと思いますし、今後の子どもたちはそういった波に乗っていかなければいけないだろうと思いました。

以前から相生市はそういったICTの活用、デジタル面も大切に、一方でふれあいや体験のアナログも大切にして「相生型ハイブリッド教育」両面でやっていこうという方向性を打ち出しています。

いつも申し上げますが、そういうデジタルも必要だし、そういったアナログですが、やっぱり昔からの不変のものも大事にしていかなければいけないと考えます。

神戸新聞に「若者Box席」という小さいコラムがあります。先日、そこに小学3年生の児童がこんな投稿をしていました。

「僕は3年生になって、二つ目標を持ちました。一つ目の目標が、漢字を正しく綺麗に書くことです。もう一つは、毎日漢字を三つずつ覚えます。漢字辞典を見て書き順や送り仮名、部首を覚えていきたいです。」

多分この子は、漢字をノートに鉛筆で書くんでしょう。「学習面で自分を高めていきたい」という思いがあるのかなと思います。それから、「漢字テストがある日には前に予習するのが大切だと思います。普段から宿題で漢字を綺麗に書くことも大切だと思います。」ということを目指に掲げているとありました。

AIを活用すれば、調べることや学習の早さを改善できると思いますが、自分で目標を立てて勉強していきたいんだと考える子どもを、教育でつくるのが大事だと思います。少し長くなりましたが、紹介させていただきました。

## 小西委員

私は、いじめのことにしてお話します。子どもたちに「してはいけない」という制限をかけて、お互いに「気をつけなさい」と、どうしてもそういった教育になると思います。

最近の子どもたちを見ますと、この4月に入ったうちの新入社員もそうですけど、主体性といいますか、人との関わり方にちょっと苦手意識がある。自分からどんどん関わっていかうとすることがなかったり、人と関わるのが嫌いではないけれども、自分から関わっていかうとあまりしてるようには見えない。といったところを感じます。

今後も先ほどから言われているDX化が進んで、ほとんどのことは全部AIがやってくれる。その中で何が人間にとって必要なのかと私はいつも会社で言っています。「聞く力」だと思います。

何かをするときに、次、どうして欲しいのか。指示すればAIはやってくれますが、

これをどうして欲しいのか聞く力。これを使ってどうしたいのかを引き出す力。こういうことが必要になってくるんじゃないかと思います。管理職になる人には必ず、「聞く力」を大切にするように伝えて、人の気持ちをどこまでくみ取れたか、その奥にあるのは何かまで理解したか。というようなことをよく聞いています。

この「聞く力」を養うというのが、もしかしたらこのいじめ対策の中で重要になってくるのではないかと、常々私は考えています。

私の時代にはあまりなかったことですが、今は、道徳の授業などで、グループに分かれて話し合いするといったことをよくやっています。自分の意見を言って、また相手の話を聞く。こういったディスカッションする場をどんどん増やして「聞く力」を伸ばす。このことが、いじめの根本、いじめ対策につながっていくのではないかというような気がしています。

## 頭島委員

今日は長袖では少し暑いかなと思いましたが、「酷暑日」という新しい言葉が設定されるなど、年々厳しい状況になり、心地よい季節はどんどん短くなっていると感じています。

そんな中、小中学校においては、教室にはほとんど空調設備が整備されて、いよいよ体育館の順番が回ってきました。夏に外での運動は困難な状況の中、体育の授業や部活動にとって、空調は必須だと思うので、子どもたちの健康を守り、熱中症事故を防ぐため、速やかに空調設備を進めていただきたいと思います。期待しております。

## 谷口市長

それでは、私から今後の教育に期待することについて、考えを申し上げます。

常々申し上げておりますとおり、まちづくりの基本は人づくりであると考えております。その人づくりの根幹となる教育が、まちの元気づくりに非常に大きな役割を担っております。本年度から後期計画がスタートいたしますが、市と教育委員会が車の両輪として連携・協働しながら、「相生の教育」の更なる充実に力を注いでまいりたいと考えております。

そういった観点から、相生市の今後の教育に期待することについて、3点申し上げたいと思います。

1点目、学校教育分野については、教育立市の実現に向け、「DAICHANアクションプログラム」に基づき、幼稚園から中学校までの12年間を見通した継続性のある教育の更なる推進をお願いします。本年度新たに取り組む次世代校務DX推進事業や一人一台端末更新事業を通じて、児童・生徒一人ひとりに応じた個別最適な支援の実現に向け、着実に進めていただきますようお願いいたします。

いじめ防止対策については、児童・生徒自らが主体となって作成する「相生市いじめ防止宣言」を中心に据え、学校・家庭・地域・関係機関が一体となった取組を、教育委員会が先頭に立って進めていただきますようお願いいたします。人権教育においては、SNS等による人権侵害の未然防止に向け、市民全体の人権意識の向上を図る教育機会の充実をお願いします。

2点目、生涯学習分野については、誰もが生涯にわたり文化芸術やスポーツに親しめるよう、更なる事業の充実をお願いします。芸術文化の振興においては、文化会館や公民館を拠点とした世代間交流を推進するとともに、貴重な地域資源の次世代への継承につなげていただきますようお願いいたします。

スポーツ分野では、より多くの市民が体を動かす楽しさを味わえる機会の充実をお願いします。あわせて、パラスポーツの普及・啓発にも引き続き積極的に取り組んでいただきたいと思います。

3点目、市立小中学校の適正配置と教育環境の整備ですが、学校の在り方が決定された矢野川中学校については、生徒や保護者、地域が不安にならないよう、丁寧に意見を聞きながら、着実に進めていただきますようお願いいたします。

加えて、本年度取り組む那波中学校・双葉中学校の体育館空調整備事業は、子どもたちの健康保持と避難所機能の強化に資する重要な取組です。

また、新たに策定した業務量管理・健康確保措置実施計画については、教職員が心身ともに健康で能力を発揮できる環境づくりが、質の高い教育につながるものであるため、計画の着実な推進をお願いします。

最後になりますが、相生の宝である子どもたちが、夢の実現に向け、粘り強く生き抜く力を持った人となるよう、共に「相生の教育」を前に進めてまいりたいと考えておりますので、委員の皆様には、これまでと変わらぬ格段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### **教育次長（管理担当）**

それでは本日の協議事項についてご審議をいただきたいと思います。

まず一点目協議事項の（１）令和８年度の重点施策について追加でご質問ご意見等はございませんでしょうか。

#### **教育次長（管理担当）**

ないようでしたら、協議事項（１）令和８年度の重点施策について、ご了承いただいたということでよろしいでしょうか。

## 市長・全委員

了承

## 教育次長（管理担当）

それではご意見等を踏まえまして令和8年度の事業を確実に進めてまいります。

続きまして、協議事項の（2）いじめ防止対策について、追加でご質問ご意見等はございませんでしょうか。

それではご承認いただけたということによろしいでしょうか。

## 市長・全委員

了承

## 教育次長（管理担当）

次に、（3）相生市教育委員会業務量管理・健康確保措置実施計画について、追加でご質問ご意見等はございませんでしょうか。

## 頭島委員

私ごとですが、子どもが今年度から中学校でお仕事することになりました。今まで保護者として子どもを通学させている中で、先生たちの働き方を知らず、部活動も当たり前だと思っていて、先生方が何時から何時まで学校にいるのかも知らず、「教員の働き方改革」と言われても、自分の中にちゃんと入って来ていませんでした。

実際に子どもが4月から、朝早く出て行って、遅く帰ってくる生活を始めて、やっと改めて実感しました。本当に先生方は、いつも疲れた顔を見せずに、子どもにも保護者にも対応してくださっていました。

子どもは、まだ働き出して少しの間で、楽しく学校に行かせていただいていますし、これからたくさん学ぶこともあると思うので、今は頑張るべきときだとは思っていますが、この「業務量管理・健康確保措置」ということが、とても大切で、しっかり話し合われて、きちんと実践していくべきことなのだなということを強く感じましたので、意見を述べさせていただきました。

## 教育次長（管理担当）

ご意見ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

## 萩原委員

資料 1 1 ページの ～「学校と教師の業務の 3 分類」に基づく取組～ の中の①学校以外が担うべき業務 のイについての意見です。

私どもの地域の自治会で、「見守り隊」といって班を編成して、大体月 1 回、各班、各地域に分かれて見守りをしています。しかし、大体夕方、暗くなってから行くので、ほとんど誰もいません。「見直さないといけないな」という声が出てきました。どうしようかと考える中で、相生市がやっている「ながら見守り 8 3 5」に乗っかるのはどうかと考えました。全員で一斉には行くことはできないかもしれませんが、行ける人だけで行ってもらったり、できる人だけで立番をする。各家庭や保護者に「犬の散歩でも買い物でもいいので、この時間に外に出てください」といったことを呼びかける。という方向に転換していく方が、子どもたちの安全面のためによいのではないかと、今考えています。

## 教育次長（管理担当）

他にご意見ご質問等はございませんか。

それでは協議事項の（3）相生市教育委員会業務量管理・健康確保措置実施計画について、ご了承いただけたということによろしいでしょうか。

## 市長・全委員

了承

## 教育次長（管理担当）

それでは、本日の協議事項 3 点につきましては、議論が終わりました。それでは自由意見のお時間を設けたいと思います。

## 谷口市長

業務を減らす取組の中で、事業を減らすということを聞きましたが。

## 坂本教育長

P T C Aの方で行っていた会議と、これまで 1 月に行っていた青少年健全育成の大会をまとめて、子どものことをみんなで考える会として、1 2 月 5 日に「あいおい子育てミーティング」という名称にして、その 1 回で集まってもらってみんなで考えましょう。ということにしました。回数では負担軽減ですが、中身は「濃く」という形にしました。

## 坂本教育長

教職員の勤務時間が長いという現状を知っていただければ、働き方改革が進めやすいと思いますが、先ほどの頭島委員のお話を聞きますと、教職員の過酷な労働状況は、まだまだ伝わっていないと感じました。

どうしたらこの状況をご理解いただけるのか考えないといけないということと、教員はいくら忙しくても疲れていても、次の日の朝には「元気な顔で子どもたちに会おう」と頑張ってくれているということもわかっていただきたいと思ったところです。

この「業務量管理・健康確保措置実施計画」については、総合教育会議で毎年報告し、進捗を確認いただくようになりますので、その点ご理解いただきたいと思います。

また、小西委員の方から「主体性」や、しっかり「聞く力」についてお話がありました。確かに今までは、子どもたちどうしが話をしたり、意見を言い合ったりするような授業は少なかったのですが、文部科学省は学習指導要領の中で、「主体的・対話的で深い学び」ということを重視しています。新しい学習指導要領でも引き続き必要な力だとされると思いますので、それを受けて進めないといけないと考えさせられました。

## 米澤教育長職務代理者

小西委員が言われていた「聞く力」と同じく最近思うのは、自分の周りでも、小さい子どもでもスマホを使いこなして、地図アプリを使ったりする姿を見て、これからそういったものを使いこなす力は必要ですが、何でも答えがすぐ出るので、「考える力」、新しいことを考える力については、この子たち大丈夫かなと少し心配に思っています。

## 小西委員

学校で教えてもらうことは、基本的にほとんどが答えがあることだと思います。しかし、答えがないことというのはたくさんあります。人それぞれに考え方があって、相手の話や思いを聞いて、どうするか考える。IT化が進むと、そういうことが苦手な子どもたちが増えていくような気がします。

会社では、主任になると目標などを発表するのですが、すごく立派な文書を書いたのだから聞くと、「AIが作った。自分はこうしたいと伝えたらちゃんと文章にしてくれる」と言っていました。

## 教育次長（管理担当）

それでは自由意見の時間は終了ということでよろしいでしょうか。

では本日いただいたご意見を踏まえまして、事務局として今後の施策に反映すべく

検討させていただきます。

また、関係部課との協議調整に努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

次回の総合教育会議は12月頃の開催を予定しております。

本日の協議事項は全て終了いたしました。

閉会にあたりまして坂本教育長よりご挨拶をお願いいたします。

## 坂本教育長

谷口市長には本日もお忙しい日程の中、総合教育会議を開催し、意見交換をさせていただきましたことに感謝申し上げます。また、教育委員会が進める事業にご理解、ご支援いただき、ご多忙の中、教育委員会関係行事にご参加、ご出席誠にありがとうございます。

本日、ご説明いたしました重点施策はどれも相生市における現在の状況を改善していくために必要なもので、現在の教育の課題であると考えております。

現在、中央教育審議会を中心に学習指導要領の見直し作業が進んでおります。本年度中には答申が出され、改定が行われる予定です。令和9年度から周知期間が始まり、10年度には教科書検定が行われ、11年度には教科書採択、12年度からは小学校から全面実施の見込みとなっております。

また、本年度「相生市教育振興計画」10年計画の中間見直しを予定しております。兵庫県の計画も参酌しながら、現在の課題を踏まえ、今後の方向性、目標、取組を検討してまいりたいと思います。

また、各課室から説明させていただきました施策に加え、矢野川中学校統合準備委員会、部活動地域展開、コミュニティスクール段階的实施なども含め、本年度も多方面の取組事項がございます。懸案でありました適正配置計画につきましても保護者、地域住民のご理解のもと現在予定通り進んでおります。

「相生で教育を受けてよかった」と振り返っていただけるよう、「教育立市」を目指し、市長、教育委員の皆様の引き続きのご支援をいただきながら、相生市教育委員会チーム一丸となって進めていきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

その上で、多くのよいニュースを発信できるよう努めてまいりたいと思います。引き続きご支援のほどお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

**令和8年度第1回相生市総合教育会議を終了**